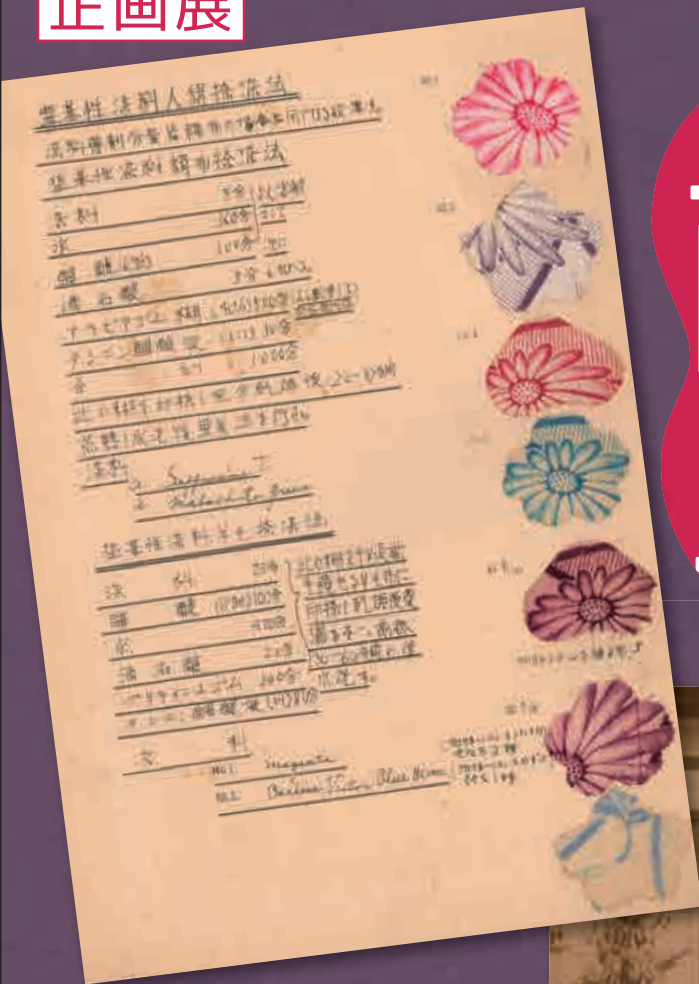


企画展

昼食, 1935(昭和10)年頃,  
京都市立第一工業学校



# 近代京都の 商業学校・ 工業学校



なっせん  
捺染サンプル帳  
1938(昭和13)年, 京都市立第一工業学校



卒業写真, 1896(明治29)年, 京都府商業学校

2016年  
12月17日(土)  
2017年  
~3月14日(火)

京都新聞の好評連載記事が書籍化されました

『学びやタイムスリップ 近代京都の学校史・美術史』

京都市学校歴史博物館編, 京都新聞出版センター発行, 税込1728円

- 【内容】・学校史(当館学芸員 和崎光太郎)  
学校と地域/子どもと教材・教具/戦争と学校  
高等女学校と女学生/特別支援教育のあゆみ
- ・美術史(当館学芸員 森光彦)  
美術受容の場としての学/京都の芸術家と学校  
我が校のたからもの



(2016年10月31日発行)

企画展関連講演会

明治の青年と学校

講師: 和崎光太郎(当館学芸員)  
日時: 3月11日(土) 14時~15時半  
※詳しくは裏面をご覧ください

開館時間: 午前9時~午後5時(入館は午後4時半まで)  
休館日: 毎週水曜日(祝日の場合は翌平日), 12月28日~1月4日  
入館料: 大人200円 小・中・高生100円

学校歴史博物館

検索



市内の小・中学生は、土・日曜日入館無料

団体(20人以上)の場合は、大人160円 小・中・高生80円  
※上記の入館料で常設展示と企画展示をご覧ください。



## 京都市学校歴史博物館

Kyoto Municipal Museum of School History

T E L : 075-344-1305 F A X : 075-344-1327

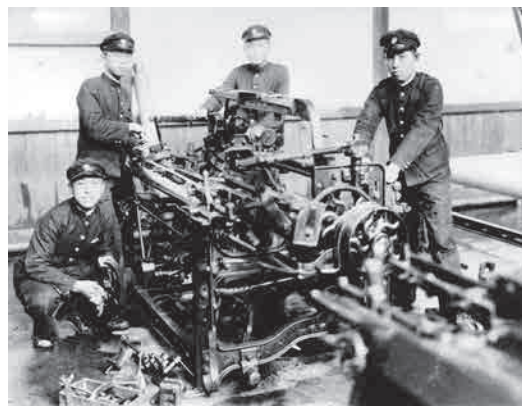


# 近代京都の商業学校・工業学校

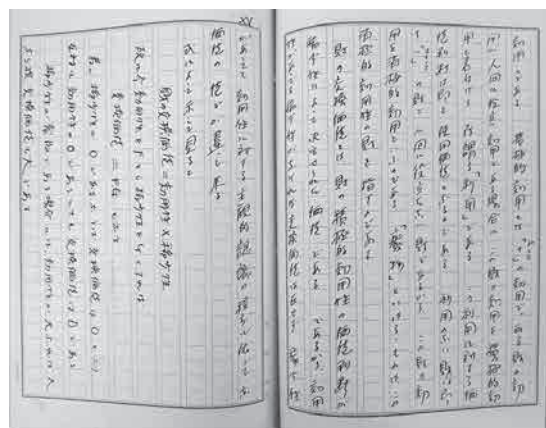
江戸時代の京都は、学問都市であるだけでなく、織物・染物・焼物などを生産する工業都市・商業都市としても発展しました。しかし、幕末の動乱と明治初期の奠都で、大量の人口流出にみまわれます。近代京都の出発は、そこからの復興の始まりでもありました。

明治初期、番組小学校の創設など人づくりの力で京都は復興を果たし、その後の商業・工業の発展には目覚ましいものがありました。その発展を支えたのが、1886(明治19)年に誕生した京都府商業学校(現 西京高校)と京都染工講習所(現 洛陽工業高校・伏見工業高校・京都工学院高校)でした。これらの学校の歴史と伝統は、現在にも引き継がれています。

本展では、近代京都における商業学校・工業学校にまつわる資料を展示することで、京都を支えてきた学校とそこで学ぶ者の姿をふりかえります。



分解・設計実習, 1925(大正14)年頃, 京都市立第一工業学校



卒業論文「文明の経済的考察」1921(大正10)年, 京都市立第一商業学校



軍事教練, 1922(大正11)年, 京都市立第一商業学校



校友会誌『工華』, 1935(昭和10)年 京都市立第一工業学校

## 企画展関連講演会

### 明治の青年と学校

日時: 3月11日(土) 14時~15時半  
 講師: 和崎光太郎(当館学芸員)  
 会場: 当館講義室 定員: 60名(申込先着順)  
 参加費: 無料(別途入館料が必要)

受付: 当館への電話(075-344-1305), FAX(075-344-1327),  
 Eメール(rekihaku-jigyuu@edu.city.kyoto.jp), ハガキ。

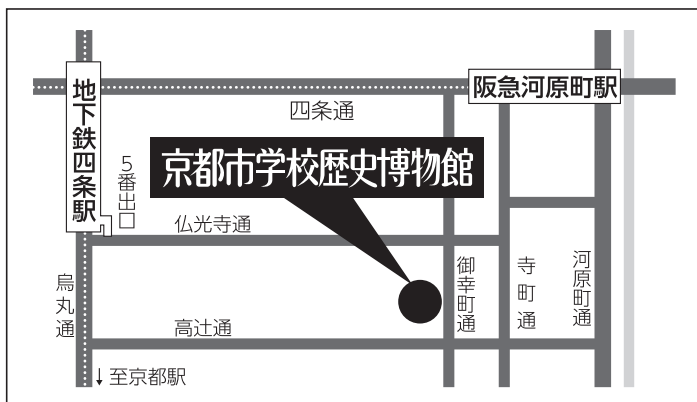
※イベント名, 連絡先電話番号, 参加代表者氏名, 参加人数を明記。  
 定員に達ししだい受付終了。

### 京都工学院高校開校記念 工業・商業 伝統継承高の学校制服

洛陽工業高校(旧・新) / 伏見工業高校  
 京都工学院高校 / 西京高校



洛陽工業高校(旧) 伏見工業高校 京都工学院高校  
 ※協力: 村田堂



※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

阪急…河原町駅 徒歩約10分 10番出口「藤井大丸口」から南西へ  
 京阪…祇園四条駅 徒歩約15分 3番出口から南西へ  
 地下鉄…烏丸線四条駅 徒歩約12分 5番出口から東へ  
 市バス…四条河原町 徒歩約10分 南西へ  
 市バス…河原町松原 徒歩約 5分 北西へ



## 京都市学校歴史博物館

Kyoto Municipal Museum of School History

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437  
 TEL.075-344-1305 ※水曜休館 http://kyo-gakurehaku.jp

●この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収へ